

保護者・学生のためのより詳しい説明

実際の入試問題を使って、この講座の効果をご説明します

8/10

メディカル英語 No.2

医学英語の語彙を"語根"で制する —— 500語を知らなくても1000語が読める

★ 清光学院の講師は、大学教員としてこれまでに皆さんのお子さんと同じ志を持った先輩受験生たちの答案を何十年も採点し合否判定を行ってきた当事者です。医学英語の長文で語彙不足を理由に失点している答案が、語根という「推定の技術」を持ってばどれほど変わるかを採点者として繰り返し目にしてきた。その実感が、この講座に込められています。

1. この講座が有効な入試問題のタイプ

① 医学・生命科学系の専門英語長文読解

東京大学・京都大学・大阪大学・慶應義塾大学医学部の英語では、医学・生命科学系の専門語が多数登場する長文問題が出題される。ラテン語・ギリシャ語語根を知る受験生は、初見の専門語に出会っても意味を推定できるため、語彙数に左右されずに読み進められる。

② 内容説明・要約問題

専門語の意味を推定できることは、内容説明や要約問題での正確な記述に直結する。「この専門語の意味が分からなかったため要約が不正確になった」という失点は、語根の知識で根本から防げる。

③ 医学部推薦・総合型選抜の英語課題

医学部推薦入試では、英語論文を事前課題として読んでくる形式がある。語根で未知語を推定できる受験生は、準備の質と面接での対応力が他の受験生と明確に異なる。

2. 具体的な大学・学部との対応

大学・学部	出題の傾向	本講座との対応
東京大学 英語	医学・科学系専門語を含む長文読解	語根推定が未知語への立ち止まりを防ぐ
京都大学 英語	生命科学系の専門英文の論旨把握	専門語を推定しながら論旨を追う力が高まる
慶應義塾大学 医学部	論文読解を前提とした推薦・口頭試問	語根知識が事前課題への対応力を高める
医学部推薦・総合型選抜（全般）	医学英語の専門語を含む読解問題	推定の技術が語彙数の壁を突破する

3. なぜ差がつくのか・受講後に期待できる変化

医学英語の専門語を「単語帳で暗記する」アプローチをとる受験生は、初見の専門語に出会うたびに手が止まる。授業の詳細な内容はここでは述べないが、受講後には（1）初見の医学専門語を接頭辞・語根・接尾辞に分解して意味を推定できる、（2）長文中の未知語で止まらずに論旨を追える、（3）医学部推薦の英語課題を語彙数に頼らずに読める、という変化が起きる。

何十年も英語の答案を採点してきた清光学院の講師陣は、医学英語問題で「語彙暗記に頼った答案」と「語根推定で論旨を掴んだ答案」の評価の差を採点者として知っている。その実感が、この講座の根拠である。